



開発と人権を考える 2億人のインクルージョン

南アジアのダリットコミュニティ

2018年10月17日(水) 18:30～20:30

報告: ポール・ディバカー (アジアダリット権利フォーラム代表)

ジェイシュリー・マングハイ (太平洋共同体 上級人権アドバイザー)

インドを含む南アジアのダリットコミュニティは、SDGsのスローガン、「誰も置き去りにしない」世界が具現されることを求めています。ダリットはなぜそれを求めなくてはならないのでしょうか？SDGsの世界的取り組みに挑戦してきたダリットの代表を迎え、開発、包摂、女性などの側面からお話しをします。

** ダリットとは「壊されし者」の意味で、不可触民と蔑まれてきた人びとが自らにつけた名前です。

会場: **大阪市立総合生涯学習センター 第7会議室** (大阪駅前第2ビル 5階)

参加費: 無料

定員: 22人 (要、申し込み)

主催: 反差別国際運動 <http://imadr.net/>

お申し込み先: event@imadr.org

**反差別国際運動はあらゆる形態の人種差別を撤廃するために1988年に創設された国際人権NGOです。

写真: OHCHR Robert Few